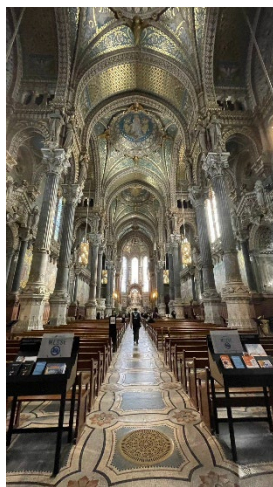
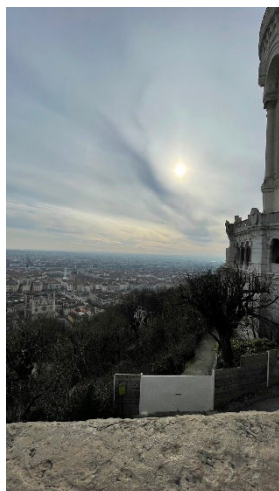


## 1月 ブルゴーニュ大学 報告書

国際文化学科3年 高橋凜

クリスマス休暇が終わり、またクラスが始まりました。1月は1週間だけ通常のクラスがあって、その後期末試験があり、またバカンスに入りました。テストは少し難しい部分もありましたが、先生と話したときに、いい点数だったよと言ってもらったので嬉しかったです。この1 Semesterでフランス語にたくさん触れて自分でも少しずつ成長できているように思うので、次からの Semester も頑張りたいと思います。

バカンスの間、パリのディズニーランドに行きました。少ししかアトラクションには乗っていませんが、日本のものより怖さレベルが高いと思いました。アトラクションが止まったり再開したりが頻繁にありましたが、待ち時間は結構短くて快適でした。雨が降っていたのは残念でしたが、とてもいい思い出になりました。



バカンスの後半にはリヨンに行ってきました。フランス第二の都市ともいわれていて、とても素敵な街でした。私は美術館や教会などを回ってきました。ケーブルカーで上っていったところにサントシャペル大聖堂があるのですが、とても煌びやかで感動しました。丘の上からの景色も素晴らしかったです。

リヨンは絹産業が栄えていた町で、街のところどころにトラブールという抜け道がたくさんあります。扉を押して通ることができるのですが、なかなか入り口を探すのは難しいです。そしてなんと、街を歩いていると、現地の人が話しかけてくれて、旧市街を案内してくれました。フランス語を勉強中だということを伝えると、分かりやすい言葉で話してくれ、自分では見つからなかった場所や有名な場所を案内してもらい、とても楽しい時間を過ごすことができました。

彼はとても優しい人だったし、私は今のところ運よく、観光をしてもスリにあたりお金を取られたりはしていないのですが、フランスに住んでいる人でもスリにあったという話を聞いたので、そういった危険性も頭に入れておかなければならないな、と思いました。

2月からは春セメスターが始まります。レベルが上がり、内容も今より難しくなると思うので頑張りたいと思います。

リヨンの景色がとても気に入ったのでこし紹介します。

トラブールの中↓



・リヨンの街並み

